

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 ムトー精工株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 7927 URL http://www.muto.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)田中 肇  
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)金子 貞夫 (TEL)058(371)1100  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 平成24年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	11,704	20.7	180	△10.3	177	22.9	63	—
24年3月期第2四半期	9,698	△6.5	201	△56.4	144	△62.2	△188	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △408百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △648百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	8.72	—
24年3月期第2四半期	△25.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	19,636	10,601	51.0
24年3月期	19,641	11,087	53.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 10,010百万円 24年3月期 10,473百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年3月期	—	9.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.50	19.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,600	13.1	900	143.0	980	142.4	700	—	96.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	7,739,548株	24年3月期	7,739,548株
25年3月期2Q	494,391株	24年3月期	459,142株
25年3月期2Q	7,245,244株	24年3月期2Q	7,345,437株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要により内需関連が堅調に推移し、エコカー補助金等の政策効果もあって回復の動きが見られたものの、欧州周縁国の債務問題がドイツなど中核国に波及し、中国など新興国をはじめ世界経済の減速が長期化していることで、輸出産業を中心に企業収益や企業マインドに大きな影響を与える状況となりました。

今後におきましても、消費税増税法案の衆議院可決や電気料金の値上げによる消費者の節約志向、一方で、中国の反日デモによる日本経済への影響など先行きに懸念材料が残る状況となっております。

当社を取り巻く業界では、エコカー補助金を背景に自動車関連が堅調に推移したものの、デジタル家電、AV関連では、市場環境及び消費マインドの低迷により、大手家電メーカーの業績不振が続き、全般に厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、震災の影響により大幅に落ち込んだ前年同期と比較して国内、海外ともに受注が増加したものの伸び悩み、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は117億4百万円と前年同四半期と比べ20億6百万円(20.7%)の増収、営業利益は1億8千万円と前年同四半期と比べ2千万円(10.3%)の減益、経常利益は1億7千7百万円と前年同四半期と比べ3千3百万円(22.9%)の増益、四半期純利益は6千3百万円(前年同四半期は純損失1億8千8百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、主力製品でありますデジタルカメラ、カーエアコン等の自動車関連部品に加え、電子ペンの受注を順調に確保し、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて97億5千3百万円と前年同四半期と比べ16億6千9百万円(20.7%)の増収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は8千3百万円と前年同四半期と比べ5千3百万円(39.1%)の減益となりました。

#### ②精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、第1四半期に引き続き、好調な一眼レフデジタルカメラの製品群の増加及び生産数量の増加を背景に受注を伸ばし、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて19億9千2百万円と前年同四半期と比べ2億4百万円(11.4%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は7千6百万円と前年同四半期と比べ1千3百万円(22.0%)の増益となりました。

#### ③プリント基板事業

当セグメントにおきましては、プリント配線板設計において得意先の受注を安定的に確保し、また、内製化の向上により、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて1億4千8百万円と前年同四半期と比べ2千5百万円(20.3%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は2千万円(前年同四半期は営業利益1百万円)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億7千2百万円減少し、112億4千5百万円となりました。現金及び預金が1億8千7百万円、受取手形及び売掛金が8千万円それぞれ減少し、商品及び製品が1億円増加したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億6千7百万円増加し、83億9千1百万円となりました。有形固定資産が2億3千6百万円、投資有価証券が3千8百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ5百万円減少し、196億3千6百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1千5百万円増加し、69億3百万円となりました。短期借入金が1億2千8百万円、1年内返済予定の長期借入金が6千7百万円それぞれ増加し、支払手形及び買掛金が2億5千5百万円減少したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4億6千5百万円増加し、21億3千1百万円となりました。長期借入金が4億8千4百万円増加したことなどが主な要因です。この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ4億8千1百万円増加し、90億3千5百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4億8千6百万円減少し、106億1百万円となりました。その他有価証券評価差額金が2千1百万円、為替換算調整勘定が4億2千6百万円それぞれ減少したことなどによります。

(キャッシュフローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、20億3千4百万円となり、前年同四半期と比べ2千5百万円(1.2%)減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益1億8千万円、非資金費用である減価償却費6億6千1百万円、法人税等の還付額1千6百万円及び売上債権の増加1億6百万円、たな卸資産の増加1億8千9百万円、仕入債務の減少1億3千4百万円、法人税等の支払額1億1千6百万円などにより、営業活動全体として2億6千8百万円の収入となり、前年同四半期と比べ2百万円(1.0%)の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産の取得による支出8億9千3百万円、投資有価証券の取得による支出6千1百万円などにより、投資活動全体として8億8千9百万円の支出となり、前年同四半期と比べ支出が4億2千8百万円(93.2%)の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、短期借入金の純収入額1億3千1百万円、長期借入金による収入11億円及び長期借入金の返済による支出5億3千9百万円などにより、財務活動全体として6億2百万円の収入(前年同四半期は5千7百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想(通期)及び配当予想(期末)につきましては、平成24年5月11日に公表いたしました「決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありませんが、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

海外連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,531,744	2,344,432
受取手形及び売掛金	5,464,936	5,384,454
商品及び製品	611,408	712,358
仕掛品	868,691	874,518
原材料及び貯蔵品	1,454,825	1,445,336
未収入金	261,539	192,926
繰延税金資産	36,928	32,904
その他	287,981	258,900
貸倒引当金	△615	△678
流動資産合計	11,517,441	11,245,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,294,463	2,180,178
機械装置及び運搬具（純額）	3,059,732	3,039,681
土地	1,298,379	1,298,379
建設仮勘定	221,565	566,479
その他（純額）	729,759	756,009
有形固定資産合計	7,603,900	7,840,728
無形固定資産	222,990	214,372
投資その他の資産		
投資有価証券	241,052	279,556
繰延税金資産	700	2,203
その他	75,243	74,149
貸倒引当金	△19,460	△19,460
投資その他の資産合計	297,536	336,449
固定資産合計	8,124,427	8,391,550
資産合計	19,641,869	19,636,702

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,636,556	3,380,917
短期借入金	1,191,174	1,319,781
1年内返済予定の長期借入金	885,995	953,853
未払法人税等	83,452	56,163
賞与引当金	130,969	142,706
その他	960,256	1,050,129
流動負債合計	6,888,405	6,903,551
固定負債		
長期借入金	1,263,686	1,748,441
繰延税金負債	515	170
退職給付引当金	219,096	212,128
役員退職慰労引当金	173,076	164,234
その他	9,517	6,793
固定負債合計	1,665,892	2,131,767
負債合計	8,554,298	9,035,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,235,713	2,235,713
利益剰余金	8,738,190	8,743,161
自己株式	△330,034	△349,473
株主資本合計	12,832,828	12,818,361
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,481	△16,967
為替換算調整勘定	△2,363,725	△2,790,550
その他の包括利益累計額合計	△2,359,244	△2,807,517
少数株主持分	613,986	590,540
純資産合計	11,087,570	10,601,383
負債純資産合計	19,641,869	19,636,702

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	9,698,197	11,704,981
売上原価	8,148,408	9,964,975
売上総利益	1,549,789	1,740,006
販売費及び一般管理費	1,348,667	1,559,695
営業利益	201,121	180,311
営業外収益		
受取利息	12,160	5,540
受取配当金	2,751	2,807
負ののれん償却額	28,182	—
その他	36,456	50,449
営業外収益合計	79,551	58,797
営業外費用		
支払利息	13,935	13,446
為替差損	121,907	47,403
その他	—	303
営業外費用合計	135,842	61,153
経常利益	144,829	177,955
特別利益		
固定資産売却益	204	2,188
特別利益合計	204	2,188
特別損失		
固定資産売却損	3,127	—
固定資産除却損	85	46
投資有価証券評価損	373	—
ゴルフ会員権評価損	1,062	—
特別損失合計	4,648	46
税金等調整前四半期純利益	140,385	180,097
法人税等	302,340	105,263
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△161,954	74,833
少数株主利益	26,546	11,619
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△188,501	63,214

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△161,954	74,833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,491	△21,448
為替換算調整勘定	△471,351	△461,890
その他の包括利益合計	△486,843	△483,338
四半期包括利益	△648,797	△408,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△645,303	△385,059
少数株主に係る四半期包括利益	△3,494	△23,446

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	140,385	180,097
減価償却費	628,166	661,082
のれん償却額	3,760	—
負ののれん償却額	△28,182	—
有形固定資産除却損	85	46
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△44	63
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,930	14,005
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,530	△3,155
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5,189	△8,842
受取利息及び受取配当金	△14,912	△8,347
支払利息	13,935	13,446
投資有価証券評価損益(△は益)	373	—
ゴルフ会員権評価損	1,062	—
有形固定資産売却損益(△は益)	2,922	△2,188
売上債権の増減額(△は増加)	△446,478	△106,314
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15,970	△189,501
仕入債務の増減額(△は減少)	△128,815	△134,722
未払消費税等の増減額(△は減少)	10,536	△40,119
その他	113,304	△4,530
<b>小計</b>	<b>272,540</b>	<b>371,019</b>
利息及び配当金の受取額	15,297	8,200
利息の支払額	△13,480	△11,329
法人税等の支払額	△97,613	△116,133
法人税等の還付額	94,508	16,649
営業活動によるキャッシュ・フロー	271,252	268,406
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△289,414	△222,286
定期預金の払戻による収入	251,701	291,425
有形固定資産の取得による支出	△465,883	△893,903
有形固定資産の売却による収入	3,332	1,663
無形固定資産の取得による支出	△8,312	△9,822
投資有価証券の取得による支出	△721	△61,660
投資有価証券の償還による収入	50,000	5,090
その他	△1,078	134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△460,377	△889,359

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300,282	131,588
長期借入れによる収入	200,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△493,746	△539,514
自己株式の取得による支出	△23	△19,438
配当金の支払額	△43,802	△58,349
少数株主への配当金の支払額	△14,479	△6,839
その他	△5,434	△4,653
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,202	602,793
現金及び現金同等物に係る換算差額	△178,780	△100,014
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△425,106	△118,173
現金及び現金同等物の期首残高	2,485,225	2,153,077
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,060,118	2,034,903

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,845,759	1,734,323	118,113	9,698,197	—	9,698,197
セグメント間の内部 売上高又は振替高	237,756	54,323	5,557	297,636	△297,636	—
計	8,083,516	1,788,646	123,670	9,995,833	△297,636	9,698,197
セグメント利益	136,593	62,947	1,580	201,121	—	201,121

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,699,549	1,862,712	142,720	11,704,981	—	11,704,981
セグメント間の内部 売上高又は振替高	53,706	130,183	6,000	189,890	△189,890	—
計	9,753,255	1,992,895	148,720	11,894,871	△189,890	11,704,981
セグメント利益	83,120	76,821	20,368	180,311	—	180,311

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)  
該当事項はありません。